

海の生き物調べて発見

市内小中学生ら学習発表

三浦市内の小中学生らが海を

三浦市立上宮田小学校

1部では、三崎小4年生

題材にした学習の成果を発表するフォーラムが26日、市立上宮田小学校(同市南下浦町上宮田)で開かれた。市内の全小中学校と県立海洋科学高校(横須賀市長坂)の児童・生徒約1000人が参加。地元の海で暮らす生き物などについて紹介し

2部では、上宮田小5年生がブランドサバ「松輪サバ」の鮮度を保つために船上で行われている、氷水に入れる漁法を再現。初声中2年生が二ホ



学習成果を発表する子どもたち
三浦市立上宮田小学校

ンウナギの餌の探し方を実験したことを報告した。市は2012年から東大三崎臨海実験所(同市三崎町小網代)と連携し、海洋教育を推進。また16年に設

立されたみうら学・海洋教育研究所は日本財団の支援を受け、市内の小中学校で海をテーマにした授業の調整などをしている。

(鴻谷 創)